



# 学校のプール老朽化に伴う校外プールの活用試行例

建設時から相当の期間が経過した学校のプールは、老朽化が目立っており、新たな対応策が求められています。このような中、今回校外プールを活用した取組を行ったところです。

今年度は試行的に小学校2校で実施

1学期に岡部小学校、2学期に岡部西小学校がパティオで試行的に水泳授業を実施します。



岡部小 6月 水泳授業の様子

改めて..

水泳授業は必要なのか？

2020年11月に香川県で修学旅行中の小型旅客船が沈没。しかし、乗船していた修学旅行中の小学6年生と教員等62人は、全員海に飛び込む。その後、救出。

その背景には..

水泳学習時に「着衣泳」を実施。  
林間学校でライフジャケットの着用を経験。

**水の事故は命に直結します。**

自分の命を自分で守るためには、水に慣れたり、泳力をつけたりすることが必要です。

天候に左右されることなく、授業を実施することができ、インストラクターによる専門的な指導が受けられるため、子どもたちも意欲的に学習に取り組んでいます。

今回の試行結果を精査し、今後、様々に検討していきます。

## 「ふるさと教育」を充実しています。 ～ふるさとの味「重忠給食」全29校で「いただきます」～

深谷市内全29校で畠山重忠公の命日である6月22日に「武蔵武士の鑑 重忠給食」を実施しました。献立は昨年度川本南小学校の6年生が「ふるさと教育」の一環で「重忠メニュー」として考案したものです。地元野菜を使い、自校方式で調理された温かなふるさとの味を、深谷っ子全員でいただきました。



武蔵武士の鑑 重忠給食

### 郷土の英雄の生き方から学ぶ

郷土の英雄畠山重忠公は、武勇の誉れ高く、清廉潔白、誠実で思いやりがあり「武蔵武士の鑑」と称されています。歴史書や逸話から伝わる重忠公の生き方や人柄から、今の時代を生きる私たちが、学ぶべきことが多くあります。



ふるさとにふれ、ふるさとを理解し、誇りに思う、「持続可能な社会の創り手」を育む → 「ふるさと教育」

- ・先人にふれ、
- ・地域の人にふれ、
- ・家族にふれ、

今を生きる自己  
を見つめる

地域の将来を担う  
自覚をもった  
子供たちの育成

持続可能な  
深谷の  
まちづくり

深谷出身の重忠公は、日本を代表する人物として様々に取り上げられ、今もその精神が受け継がれています。深谷出身の先人や偉人を教材として位置付け、「社会に開かれた教育課程」を実現していきます。